

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和6年3月29日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691400107
法人名	医療法人 浩愛会
事業所名	グループホーム ひいらぎ
所在地	鹿児島県垂水市柘原625番地2 (電話) 0994-35-3686
自己評価作成日	令和6年3月2日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和6年3月20日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

理念である「思い・願いを大切に笑顔で楽しい生きがいくくり」をモットーに、入居者様の一日一日を楽しく安全に過ごす事が出来る様にスタッフ皆で情報の共有に努めチームケアに取り組んでいます。今年度も感染症対策のため隣接している小規模多機能ホームや地域の方々との交流は自粛中で大きな行事も行えていませんが、施設内だけでも楽しめるレクリエーションの工夫や短時間の散歩やドライブなどを取り入れ、入居者様がストレスを感じず過ごして頂けるよう努めています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・事業所は広い敷地内に小規模多機能施設と隣接しており、緊急時の対応や日常的な協力体制が整っている。看護師の配置や母体医療機関との連携・協力体制により利用者・家族にとって医療面での安心感に繋がっている。
- ・コロナ禍により地域との交流が難しい中で、保育園児や民生委員との関係継続、地域住民からの野菜の差し入れ等の交流が継続されている。
- ・管理者は職員とのコミュニケーションを図り良好な関係で資質の向上、働きやすい環境づくりに努めている。
- ・年2回、昼夜想定での総合避難訓練を実施しており、地域の協力体制も構築されている。事業継続計画(BCP)を作成し、災害時の地域住民受け入れも可能である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念は玄関やホールの目につきやすい所に掲げ常に意識してケアできるようにしている。	開設当初からの地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を掲げ、玄関・ホールに掲示、パンフレットにも記載している。朝礼や毎月のケア会議等で確認と理念に沿ったケアの振り返りを行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	振興会に加入し回覧板等で地域の情報を得ている。感染症対策のため地域の方々との交流は控えている。	振興会に加入しており回覧板で情報を共有している。コロナの影響で地域行事が中止され交流が少なくなっているが、地域住民からの野菜の差し入れや保育園児から七夕飾りを頂く等の交流は継続している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	感染症対策のため認知症カフェ等行っていない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議の中で地域や市役所・民生委員の方々の意見等をきき問題解決できるように取り組んでいる。	2ヶ月毎の対面での会議を開催し、利用者状況や行事報告・ヒヤリハット・事故等についての報告を行っている。近隣の孤独死について等の意見があり検討して、状況は職員間で共有しサービス向上につなげている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	運営推進会議時に情報交換するだけでなく、書類での手続きや相談事など電話や窓口に出向き助言をもらっている。	運営推進会議で情報交換を行い、メールやファックスでの情報や研修案内があり、研修へも積極的に参加している。書類関係で窓口へ出向いたり電話で相談する等、協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束廃止委員会を3ヶ月に1回開催している。また法人研修やケア会議でも勉強会を行い理解できている。	指針・マニュアルを作成しており、法人全体で委員会を設置し、3ヶ月毎の会議や勉強会を開催している。事例検討会や研修会で確認と意識の統一を図り、スピーチロックを含め身体拘束ゼロを実践している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人研修で学ぶ機会を持っている。身体的虐待だけでなく言葉による虐待もないように職員間で意識しあい防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	法人内研修が毎年実施され全員参加が義務付けられている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約書に沿って説明している。不明な点があれば連絡して頂けるよう伝えている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>面会・電話の際に話を伺い意見、要望等あれば出来るだけ添えるようにスタッフ間で情報の共有をしている。</p>	<p>利用者からは日常会話の中から、家族からは面会時や電話連絡時に意見や要望を聞き、把握した情報は職員間で共有し運営に反映させている。面会についての要望が多く、玄関ホールや窓越しでの面会を行う等、出来る限り希望に沿うよう工夫している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>ケア会議、個人面談、日常会話等で出た意見を運営に反映している。</p>	<p>朝礼や会議で意見や提案・要望等を聞く機会を設け、日常的に話やすい環境となっている。人事考課制度と合わせて個人面談を実施し、必要に応じて随時面談を行っている。出された意見や提案・要望は共有し運営に反映している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>厳しい現状の中ではあるが少しでも改善できるように努力されている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人の勉強会や事業所ごとの勉強会に参加し知識を習得している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>研修会で得た情報や知識をケア会議で伝えている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族や前の施設からの情報を基に本人の様子をみながら無理のないように信頼関係を築き快適な暮らしができるよう心掛けている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族の要望・困りごとを把握し、入居者様の状況を説明して不安の解消に努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご本人・ご家族の要望をよく聞いてケア会議でスタッフ全員で協議して必要なサービスを提供できるようにしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>ご本人と共に生活している一員として接し家族のような関係を作り日々の生活の中でできる事はしていただき自宅にいるような環境作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会時、電話等で情報を伝えご家族の要望をできる限り実現できるようにしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>これまでのご本人の築いてきた関係を絶たない様に支援している。</p>	<p>感染症対策で面会が困難になっているが、窓越し面会や電話の取り次ぎ、受診に合わせて自宅周辺や花見等のミニドライブに行く等、馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>入居者同士の関係性を把握してトラブルを未然に防げるように様子観察し、早目の対応を心掛けている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>地域の介護相談所でもあるのでいつでも相談に来て下さいと伝えている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の思いを聞き出せるような関係作りに努めている。また日頃の関わりの中から見極め職員間で検討している。	入居時のアセスメントや家族からの情報、日常会話の中から思いや意向を把握するよう努めている。把握した情報は職員間で共有している。意思表示の困難な方については家族と相談して本人中心に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族やサマリーを基本情報としてスタッフの関わりにより得た情報を分析、共有して経過を把握している。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご本人のできる事を大切にしてスタッフの情報を活かし、その方に合った一日の過ごし方を検討している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人の意向を基にご家族、スタッフの情報を織り交ぜながらケア会議等で検討し快適に過ごせるように計画を作成している。	日々のチェック表、毎月のケア会議において情報を共有し、3ヶ月毎にモニタリングを実施している。介護計画は本人・家族の意向、主治医の意見等を踏まえて短期で3ヶ月、長期で6ヶ月毎、状況変化時には随時見直しを行い、現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	業務日誌は一日が一目でわかるように見やすくしている。変化や気づき等あった時は個別に記録しスタッフ間で共有し介護計画の見直しや実践に役立てている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	スタッフ間で情報共有し必要なニーズに対応して可能な限り実践している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	感染症対策のため事業所行事、地域行事も中止となっており交流ができていない。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前にかかっていた主治医と連携を図り、緊急時に対応できるように関連病院とも連携を図っている。	入居前からのかかりつけ医が主治医となっている。母体医療機関から月1回と必要に応じて随時の往診があり、数名の方がそれぞれの主治医に月1回受診している。他科受診については家族対応で必要時には職員が対応、日常の健康管理は看護師が行い適切な医療を受けている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>状態変化時は必ず報告し指示をもらい対応している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>ご家族や入院先の相談員とも連携し情報交換を行い退院後も支障なく生活ができるよう努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のめりかについて、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>契約時に終末期や重度化した時の対応をきくことにしているが入居時点での入居者様、ご家族の意思がはっきりしていない事が多い。状態に応じて早目の説明、意思確認を行っている。</p>	<p>指針・マニュアルがあり契約時に説明して確認している。状況に応じて本人・家族の意向を確認し同意を得ている。系列の老人保健施設入所希望が多い。看取り介護の事例がある。看取り後の研修も行っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>年一回救急訓練（心肺蘇生法、AED使用方法）を実施、緊急時に備えている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回昼夜想定で避難訓練を実施している。</p>	<p>隣接する小規模施設と同日に年2回、昼夜想定での総合避難訓練を実施している。法人内で協力して行っている。地域の協力体制も構築されている。備蓄は一覧表があり、5日分確保している。カセットコンロ・簡易発電機等の準備がある。事業継続計画（BCP）を作成し災害時の地域住民受け入れも可能である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>人生の先輩としてご本人の思いを大事にしてこれまで積み上げてきた事を傷つけないような言葉遣い・接し方を心掛けている。</p>	<p>マニュアルがあり年間研修計画に沿って接遇やプライバシーに関する研修を実施している。入室時のノック、入浴や排せつ時等、誇りやプライバシーを損ねないように配慮している。呼称はさん付けで、申し送りは部屋番号で行っている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>本人の希望や思いを実現できるように本人の意見を傾聴し、またご家族の情報を参考にして自己決定できるように努めている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入居者様のペースを大切にして職員側の都合で動かしたりしないように心掛けている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>本人の意思を大事にしながらいアドバイスして季節に合わせた服装を選んでもらっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	嗜好や形態に配慮し個々に合わせ提供している。季節を感じられるメニューやお菓子作り、リクエストにも答えている。	個々に合わせた食形態で、職員が菜園の野菜等を使って調理し、利用者も一緒に皮むきや下ごしらえを行っている。季節の行事食や誕生日のケーキ・桜餅・たこ焼き・庭でのソーメン流し等、食事が楽しくなるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	本人の状態を考慮して食事提供の内容や方法を検討食事量・水分量を確保できるように努めている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ご本人の状態により声掛け～全介助まで一人一人に合わせて口腔ケアを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	本人の状態、排泄記録をみながら声掛けや誘導を行い、自己にてトイレ排泄できるよう支援している。	排泄チェック表を活用して、日中はトイレでの排泄を支援している。夜間帯はおむつやリハビリパンツ・パット・ポータブルトイレ等、個々の状態に応じて自立に向けた支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄記録表で排便の状態を確認し個々に応じて薬剤の使用など検討し快適な生活ができるようにしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	その日の体調に合わせて無理な入浴誘導は行わず本人の意思決定を考慮している。	入浴は週2回、体調や時間等、希望に応じての入浴となっている。浴槽に入れない利用者は、シャワー浴と足浴を組み合わせている。拒否のある時は声かけの工夫、時間や曜日変更等で対応している。シャンプー・リンス・石鹸等、本人に合わせた物を使用して入浴が楽しみになるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人の生活パターンに応じてリラックスし休憩できるようにしている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理簿を作成し個々の薬の情報をすぐに確認できるようにしている。本人の状況により手渡し～全介助までその方に合った与薬を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	できる事に合わせて手伝いをもったり、得意な事を十分生かせるようにレクリエーション等提供している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	感染症対策でまだ外出禁止となっており自由に外に出かけることはできませんが近所の散歩をしたり外気浴を兼ねて屋外で食事をしたりしている。	コロナの影響で外出の機会は少なくなっているが、天気の良い日にはミニドライブや敷地内の畑を見たり外気浴をしたり、近隣の散歩を行う等、外出する機会を増やすよう努めている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理できる方は自分で持ってもらいできない方は買い物も希望があればご家族に買ってきてもらっている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話をと希望があればその都度行っている。手紙もやり取りができるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感が感じられる展示物を共用スペースに展示している。また温度・湿度を計測し過ごしやすい空間作りに努めている。	リビングは大きな窓で明るく開放感がある。加湿器・除湿器・空気清浄機と定期的な換気で空調管理がされている。壁には季節の手芸作品や写真を飾り、テーブル・椅子・ソファ・畳のスペースもあり、それぞれが好みの場所で居心地よく過ごせる環境となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者同士の関係性に応じて席替えも行っている。ソファを置くなどしてリラックスできる場所を提供している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	在宅で使用されていた物を持ってきてもらい本人が居心地よく過ごせるような居室作りに努めている。	居室は電動ベッド・タンス・エアコンが設置され、寝具はリースとなっている。テレビやラジオ・テーブル・椅子等、それぞれが使い慣れた品物を持ち込み、写真やカレンダー・手芸作品等を飾り、居心地よく過ごせる環境となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	その方の状態に応じて安全に過ごせるよう職員間で連携し改善している。		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
		○	3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない